# ep15

**说话人None** : ep15.m4a 说话人1 00:12 姉さん、天音。まだどこにいるか分かんないのか？ 说话人2 00:25 つけっぱなしだし、ランドセルもしてるし。なんか変なのよ。

**说话人None** : 说话人1 00:33 天音初めだ。

**说话人None** : 说话人2 00:39 ずっと来い。

**说话人None** : 说话人1 00:41 あまりちゃん達のところへ。剣崎君。

**说话人None** : 说话人2 00:49 1人きり君の存在がいい。世界の姿を見て守り守る神様、君はいつも夏される勇気を出すなんて、そんな勇気です。私は大丈夫です。先生、早くくるめ。

**说话人None** : 说话人1 03:39 どうしたんですか？ 说话人2 03:40 気がついたらここにいたの。それで怪物が怖かった。大丈夫よ。もう大丈夫。

**说话人None** : 说话人1 03:47 なんでとかいたのか？あいつは。初めは分からない。アンデッドと戦っていたんだが。

**说话人None** : 说话人2 03:57 あいつが姉さ。

**说话人None** : 说话人1 03:59 んのところにいたから、アンデッドが。でも、あの2人を助けた。

**说话人None** : 说话人2 04:07 の。

**说话人None** : 说话人1 04:36 初めだ。逃げられた呼び出しておいて、君のことを狙って、俺はいけばいけないんだ。そうじゃない。君が遠ざかっても、お姉ちゃん達を襲われるなら、そばにいて守れよ。2人を守れよ。

**说话人None** : 说话人2 05:13 君がカテゴリ。

**说话人None** : 说话人1 05:30 ーユーザーカードを手に入れたというのに、適合者はまだ見つからないのかな？申し訳ありません。今全力を挙げて。土地はな。そうか。シュルティクスナンバー攻撃を浴びに来たよ。最後にしたのは前澤そうだと答えてる。その後、お前のためだ。あの女がお前が強くなって自分になんだと？ 说话人2 06:40 この男だ。

**说话人None** : 说话人1 06:45 あれがないと俺はもう戦えないんだぞ。絶対打ってくださいよ。

**说话人None** : 说话人2 07:01 一撃できない。

**说话人None** : 说话人1 08:04 どうだ？逃げるのか？いざか？まさか。ギャレンごときに。あの女の死が奴に恐怖心をなくさせたんでしょうか？おそらくな。だが心配することはない。カテゴリーエースのカードは。

**说话人None** : 说话人2 08:41 ここにある。

**说话人None** : 说话人1 08:43 後は適合者を集めれば、曲のライダーは完成するま姉ちゃん呼び捨てにしないでよ。役に立たないって心配して電話かけてるんだから。なんですって？最後さんがとにかくお店開けるくらい元気。よかったよ。お客さん来ちゃったから。またその格好は？まさか。

**说话人None** : 说话人2 09:26 ひどい。さよこさん。あんなに立花さんのこと。

**说话人None** : 说话人1 09:33 俺、忘れた。そんなことは。犯人はわかってる。いかがだ？さっきまでそう戦ったが、逃げられた広瀬、やつを探してほしい。じゃ、立花さん、敵を。俺にはそれしか残ってない。たとえ好みが滅びようと聞いたよな。最後は死んだら、今日自信があるんだ。情けないよな、立花する。

**说话人None** : 说话人2 10:16 立花だ。うまく言えないけど、さえこさん。立花さん好きになった。

**说话人None** : 说话人1 10:25 絶対後悔してないと思う。

**说话人None** : 说话人2 10:26 恋愛なんかしたことない。私が言うのも変だけど。

**说话人None** : 说话人1 10:31 ありがとう。嫌だな、お前。頼むな。大丈夫だ。

**说话人None** : 说话人2 10:50 どうしたの？ 说话人1 10:52 バラボラをちょっとでも上にあげるって聞かないんだ。そうだろう？立花さんだって、彼女は失い、必死に戦おうとしてる。僕が何をした？姉さん。あまりちゃんさえ守れず、あんなやつに。

**说话人None** : 说话人2 11:08 そうだよね。

**说话人None** : 说话人1 11:09 みんなで頑張らないとね。つけてみて。

**说话人None** : 说话人2 11:12 ひろしさん、どうかな。でも、どんな人間なんだろう？カテゴリーエースの。

**说话人None** : 说话人1 11:26 寄稿者って。

**说话人None** : 说话人2 11:49 こんにちは。私の名前はどうだ？ 说话人1 12:00 見つかったか？この子が1番適合数値が高い。よし。

**说话人None** : 说话人2 12:07 やってみてくれ。やめてください。あの、勝ち点は何なんですか？あの勝ち、宇宙省 说话人1 12:58 映像をくぐり抜けるんだ。

**说话人None** : 说话人2 13:18 やった。基本的には承認します。いや、ちょっと。最高だよ。最高だ。カテゴリーする力はできない。最高の究極の概念を手に入れることができるんだ。どこだ？おいおい、起きろ！おい、起きろ！おい、起きろ。よし。おい。

**说话人None** : 说话人1 14:25 大丈夫か？ 说话人2 14:26 おい、どこ行ってんだ？おいおい。あのーすみません。ここに女の子来てませんでした。

**说话人None** : 说话人1 14:53 年は僕と同じぐらいで、えーと 说话人2 14:56 髪の毛、このぐらいで背が低い方で、すっごい強気なんですけど。したいだ。生じないと2時間くらい前かしらう。わあもう、もう振られたね。この声はもう終わり、すごいこととままね。ありがとうございました。すいません。どうしたいこと言うの？いいの、いいの。女の子を待たせる男なんて最低なんだから。あーあの子傘持ってな。かっ？ 说话人1 16:03 俺ちゃん達、襲われるなら。

**说话人None** : 说话人2 16:06 そばにいて守れよ。あの2人は行って行ってね。

**说话人None** : 说话人1 16:44 なんだって初めが。いや、駄目だよ。帰ってきたって家にいるじゃん。あいつはね、なんであまねちゃん。あまねちゃん待てよ。どこに行くんだ？決まってるだろう。姉さんのとこさあ。あいつが戻ってきたんだ。あいつのショーで話さないと。そしてショックを与える。悲しませる。お姉ちゃんやお姉さんに辛い思いをさせるのか？でも俺はよかったと思ってる。これからもあんだと襲ってくるかもしれない。その時、あの2人を守れるのはあいつだけなのかもしれない。なんか俺そんな気がしてるんだ。あーあーあー野郎、キャッチしたわ。アンデッドよ。もしかしたらいざかかもしれない。立花さんにも連絡を頼むことを頼む。なりたいな。

**说话人None** : 说话人2 18:13 もしもし。立花さん、わかった。

**说话人None** : 说话人1 18:18 でも、現在に伝えといてくれ。余計な手出しはするな。

**说话人None** : 说话人2 18:23 これは俺の戦いだと？俺の戦いって。ね。もしもし。立花さん？立花さん。

**说话人None** : 说话人1 18:51 今度こそ君の敵を討つ。あ、もしかして。行ける？ 说话人2 19:13 行こう。王馬さん。

**说话人None** : 说话人1 19:30 俺のことが分かんないんですか？ 说话人2 19:32 先に行って。は、はい、もちろん。うん？知らない。立花さん、身長がここ俺に任せろ。とにかく道路に行きます。

**说话人None** : 说话人1 20:16 今日は俺の手で倒。

**说话人None** : 说话人2 20:31 すより話しください。君を無駄にする必要はありません。数えきれないから。そして何より何より君の笑顔が忘れられない。

**说话人None** : 说话人1 21:17 遅いかな。

**说话人None** : 说话人2 21:22 今終わりだって言うのだ。俺は、俺は、俺は君が好きだった。

**说话人None** : 说话人1 21:32 君のことを大切に思っ。

**说话人None** : 说话人2 21:34 ていた。え、万里さんやられる？ 说话人1 23:13 お返しします。ハンドボルトに宿っていた雲のアンデッドチャクネシが暴走したとしか思えない。

**说话人None** : 说话人2 23:20 また新たなセークネーションにも伝えたいから、誕生する。。